

コミュニティファーマシーフォーラム2023



# COVID-19パンデミック禍での 薬剤管理指導業務と感染への恐れ についての振り返り

鈴木知子<sup>1</sup>、佐竹尚子<sup>2</sup>、吉岡優子<sup>3</sup>、浜田康次<sup>4</sup>、山村重雄<sup>5</sup>、佐藤透<sup>2</sup>、池田俊也<sup>1</sup>

1国際医療福祉大学医学部、2横浜薬科大学実務実習センター、  
3(社)日本コミュニティファーマシー協会、4アポクリート(株)、5城西国際大学薬学部

\* E-mail: [tsuzuki7@iuhw.ac.jp](mailto:tsuzuki7@iuhw.ac.jp)

演題発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

# 目的

COVID-19パンデミック禍において、保険薬局やドラッグストアにて

✓薬剤管理指導業務の変化

✓薬剤師が感染への恐れを感じた事象

について振り返り、

今後、新たな感染症のパンデミック禍での対策として

いかなる対応が準備できるかの検討を行った。

# 方法

- ✓ 対象：勤務している全国の保険薬剤師438人
- ✓ 調査方法：自記式調査票によるWeb調査
- ✓ 調査時期：COVID-19パンデミック禍2021年度  
(2021年9月～2022年1月)
- ✓ 調査項目：
  - (1) 薬剤管理指導業務が増えたか、  
また、服薬指導の形態変更があったか
  - (2) 薬剤師が感染への恐れを感じた時はどのような時か

## 結果

# 対象者の背景

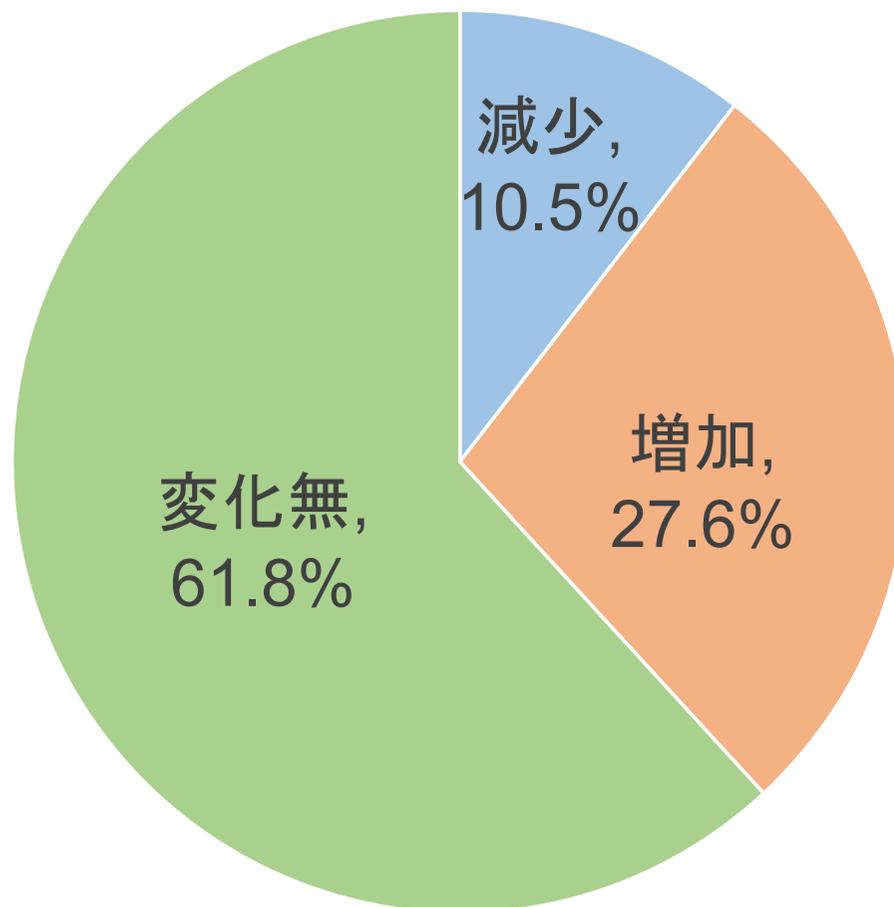
(n= 438)

年齢	(歳)	40.9±10.8
性別	男	249 (56.8)
薬剤師人数/事業所	(人)	8.3±8.4
勤続年数	(年)	6.4±7.0
職位	一般(職位無し)	255 (58.2)

mean±SD、n (%)

結果

## COVID-19パンデミック禍での 薬剤管理指導業務量の変化

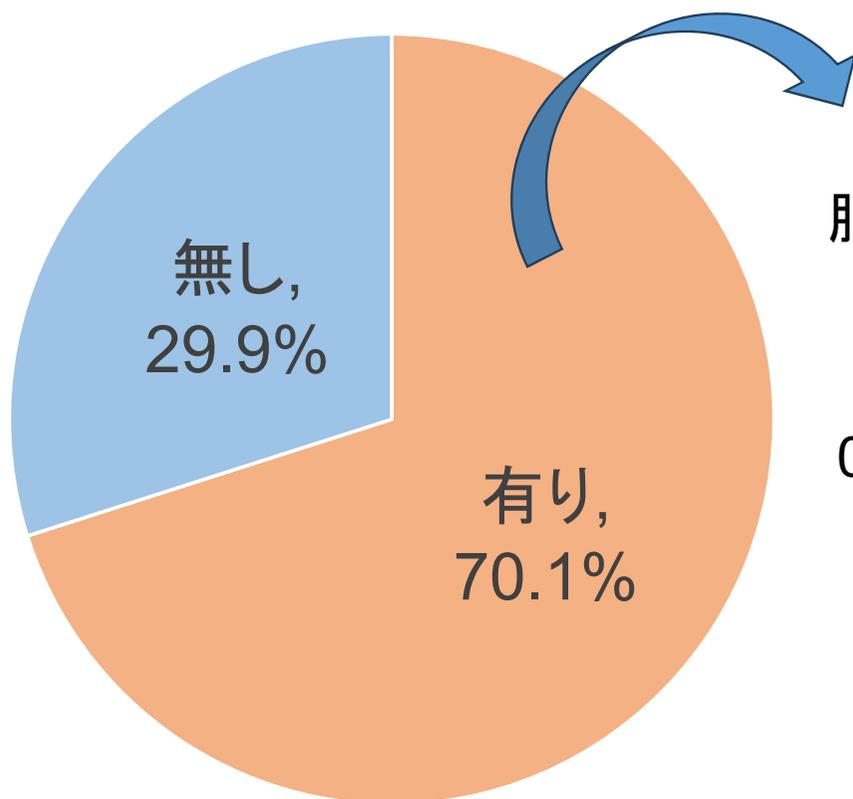


(n= 438)  
内、該当者351人

結果

# COVID-19パンデミック禍での 服薬指導の形態変更

(n= 438)



服薬指導オンライン

11.2

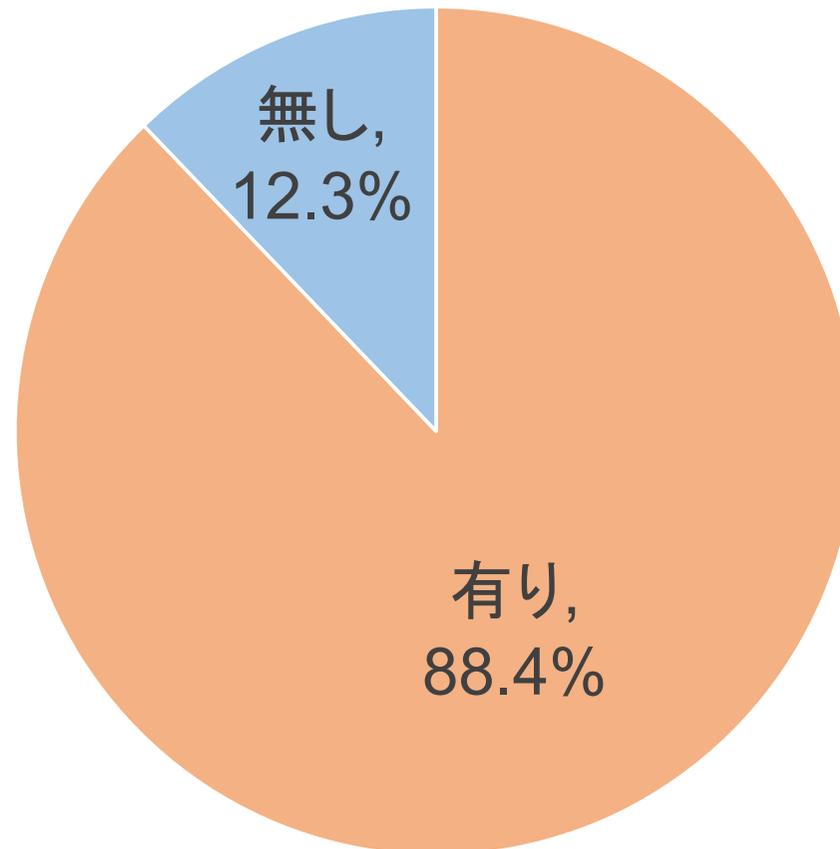
0410通知での対応

65.5

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 (%)

結果 COVID-19パンデミック禍での  
薬剤師が**感染への恐れ**を感じた**有無**

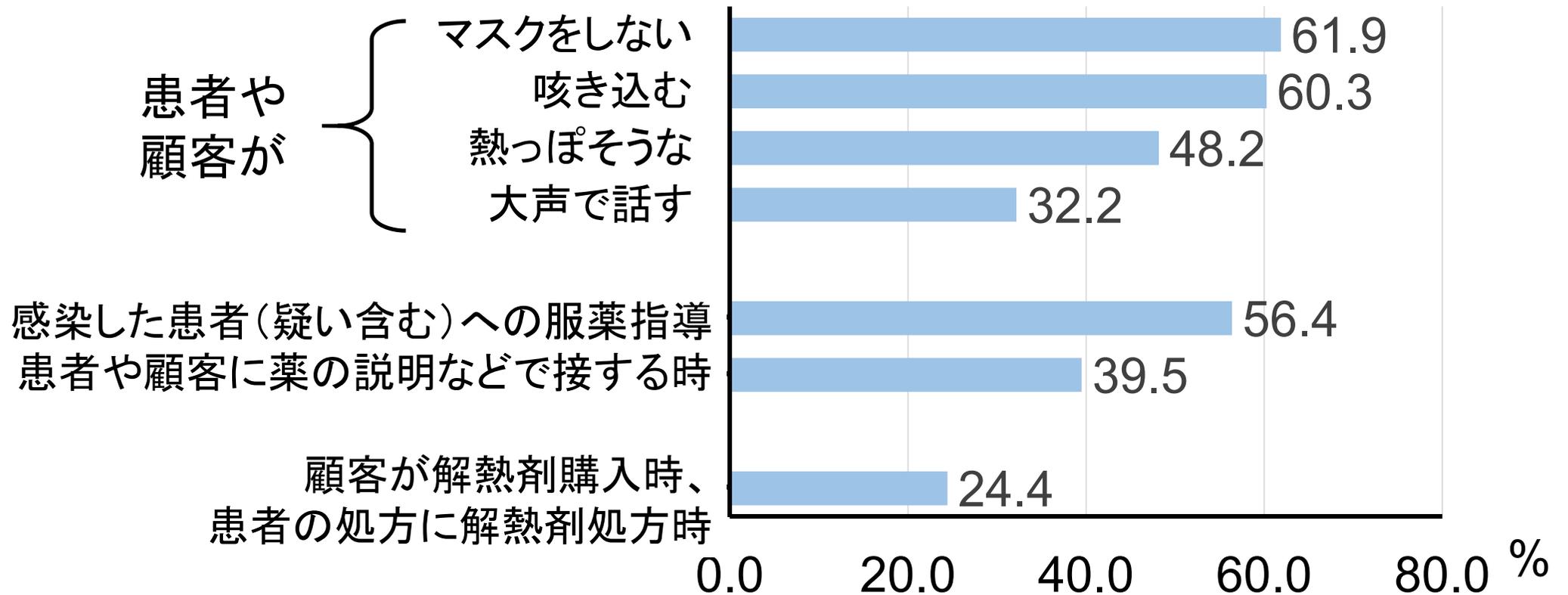
(n= 438)



結果

# COVID-19パンデミック禍での 薬剤師が感染への恐れを感じた事

(n= 438)



# 考察(1)

COVID-19パンデミック禍での

(1) 薬剤管理指導業務が増えたか、服薬指導の形態変更があったか  
薬剤管理指導業務量については約2/3が変化無しと回答していたが、  
服薬指導の形態変更は70%と多かった。

0410通知での対応を 約2/3の薬剤師が活用していたが、  
従来のオンライン服薬指導は約1割であった。

0410通知での対応: COVID-19拡大防止等のため薬剤師が、患者、服薬状況等に関する情報を得た上で、電話や情報通信機器を用いて服薬指導等を行うことを可能とする措置

## 考察(2)

COVID-19パンデミック禍での

(2) 薬剤師が感染への恐れを感じた時はどのような時か

多くの薬剤師が感染への恐れを感じており、

患者や顧客の状況や 疑いを含めた感染者への対応時が多かった。

今後、新たな感染症のパンデミック禍での対策を含めてオンライン服薬指導は恒久化していくことになるが、

その対応や実用性、実効性は、医療安全等の観点を踏まえ、いかに取り組んでいけばよいかの試行錯誤を継続する必要があると考える。